

防災の絆・石川

No.19<27.3.13>発行責任者

日本防災士会石川県支部

支部長 土田 満

事務局長 福谷 正信

メールアドレス sp4t33n9@friend.ocn.ne.jp

平成27年度通常総会を4月25日（土）に開催

土砂災害研修会を併催

石川県支部では、第9回目となる平成27年度の通常総会を4月25日（土）午後2時から午後4時30分頃まで、金沢市松ヶ枝福祉館（金沢市高岡町7-25）で開催します。

総会では、平成27年度1年間の活動計画を決めるほか、石川県土木部技監による「土砂災害研修会」を開催します。

同封の葉書により4/13（月）までに出欠連絡を忘れずをお願いします。

平成27年度会費の早期納入にご協力を！

私達の活動資金は、会員の皆様からの拠出金で成り立っています。

ゆうちょ銀行の自動払込みをおすすめします

支部年会費については、ゆうちょ銀行の自動払込みを導入しています。現在30名の会員から自動払込みで会費をいただいています。

平成27年4月30日（木）が貯金通帳からの引き落とし日です。引き落とし不能とならないよう、通帳残高の確認をお願いします。

まだ、自動払込みの手続きをされていない会員には、払込手続きの簡素化や手数料負担の軽減から、できるだけ自動払込みの手続きをお願いしています。

4月30日に引き落とす場合は2月末日までにお近くの郵便局で手続きが必要ですが、4月以降も毎月30日に引落日を設けていますので、3月以降でも結構ですので、ゆうちょ総合通帳と印鑑、本人確認のための運転免許証をご持参の上、お近くの郵便局で手続きをお願いします。郵貯総合通帳をお持ちでない方もその場で通帳を作れます。詳しくは郵便局でお尋ねください。

★ 自動払込みの口座番号は次のとおりです。

加入者名 特定非営利活動法人（NPO法人）日本防災士会石川県支部

口座番号 13130-14812161

手数料 1件25円

郵便局の振込用紙での払込みもできます

★ 振込用紙で払い込まれる場合は次の口座へ2,000円の振込をお願いします。

加入者名 石川県防災士会

口座番号 00770-1-57485

手数料 ATM利用の場合 80円、窓口利用の場合130円

なお、4月25日の通常総会に参加される方は、会場でも会費の受付をいたします（その場で領収書をお渡しします。）ので、出欠葉書にその旨ご記入下されば、混雑を避けるため、あらかじめ領収書を準備させていただきます。

春の防災士スキルアップ研修会を羽咋市で開催

2月7日(土)に役員会を開催し、毎年春と秋の2回開催している防災士スキルアップ研修会を27年度は5月31日(日)羽咋市で、また秋の研修会は10月17日(土)に能美市(予定)で開催することが決まりました。

研修内容は、災害時の避難行動のための図上訓練(DIG)と防災活動実践報告会です。(春と秋は同じ内容です。)

春の研修会の日時

日時：平成27年5月31日(日)午前8時から正午まで 受付は午前7時30分。

場所：宇宙科学博物館コスモアイル羽咋ホール

〒925-0027 羽咋市鶴多町免田25 ☎0767-22-9888

講師：本部のDIG訓練に参加された大月真由美副支部長、南川正樹、藤田武則、竹村正治、松田陽を予定

他に、DIGの知識をお持ちの方は指導に当たってください。

受講希望者は、同封のハガキで4月13日(月)までに申し込んでください。

原子力防災の基礎知識と発電所の防災機能を学ぶ

2/21(土)に講演会と志賀原子力発電所見学

支部では、経済産業省とタイアップして2月21日(土)に10時から石川県地場産業振興センター本館2階研修室で福井大学附属国際原子力工学研究所の安田仲宏教授から「原子力防災と放射線」と題して、原子力防災の基礎知識と防災士の役割を学び、参加者は熱心に耳を傾けていた。県内から会員160名が参加した。

午後からは北陸電力志賀原子力発電所を見学した。今回の見学は防災士を対象とした研修で内容も濃く防潮堤の構造や2号機の中央制御室(研修施設)など発電所の防災機能を中心に説明を聞いた。



←安田教授の講演に熱心に聞き入る参加者

金沢市災害ボランティアネットワーク会議に支部長が参加

2月12日(木)に金沢市社会福祉協議会主催で「金沢災害ボランティアネットワーク会議」が開催され土田支部長が出席。金沢市内の各種団体と発災時に設置される「災害ボランティア現地本部」の運営について意見交換した。3月15日(土)に10:00から16:00金沢市鳴和台市民体育館において構成団体を対象とした訓練を開催し、連携を図ることとした。

今後の行事予定

- 27. 4. 25 (土) 通常総会 (金沢市松ヶ枝福祉館)
- 27. 4. 29 (祝) 金沢ウォーク 2015 へのボランティア参加
- 27. 5. 31 (日) 春の防災士スキルアップ研修 (羽咋市)
- 27. 7. 4 (土) 日本防災士会北信越支部連絡協議会役員会、総会、原子力防災研修会
- 27. 7. 11 (土) ~ 12 (日)
災害ボランティアコーディネーター養成研修 (能登空港)
石川県 県民交流課主催
- 27. 7. 25 (土) ~ 26 (日)
災害ボランティアコーディネーター養成研修 (白山市市民交流センター)
石川県 県民交流課主催
- 27. 9. 下旬 自衛隊一日体験研修 (陸上自衛隊金沢駐屯地)
- 27. 10. 17 (土) 秋の防災士スキルアップ研修 (能美市)
- 27. 11. 14 (土) ~ 15 (日)
金沢マラソンへのボランティア参加

役員の方へ

次回役員会は4月4日(土)午後1時30分から午後4時頃
金沢市松ヶ枝福祉館4階学習室です。(総会の提案議案の審議・総会の役割分担)
当日欠席される役員の方は早めに事務局福谷(携帯090-2123-3300)まで連絡ください。

当日は午前11:00から監事2名により会計監査を行います。

ゲームで防災学ぶ

コーディネーター90人研修

県の災害ボランティアコーディネーターの能力向上を図る研修会が十六日、県地場産業振興センターであった。ボランティア登録している県民や社会福祉協議会の職員ら約九十人が、ボードゲームに四百六十人が修了している。

コーディネーターはボランティアと被災者の仲介を担う。県は二〇〇五年度に養成研修を始め、一四年度まで



災害に強い町を目指すボードゲームに取り組むボランティアコーディネーターら。県地場産業振興センターで

ムは仙台市や学識者が開発した「仙台発そなえゲーム」。仮想の町の住人となり、物資の備蓄や被災に備えた支援活動などを町内に割り振り、災害に強いまちづくりを目指す。参加者は六人一組のグループで挑戦。「ミルクやトイレレットペーパーは自宅に備えるべきだ」「テントは公園かな」などと相談して、物資の名前が書かれたカードを机の上に広げた地図に置いた。県民ボランティアセンターの鈴木幹幹事、前橋市の前橋社会福祉協議会ボランティアセンターの高山弘毅主事の講義もあった。(谷口大河)

災害時の連携確認

ボランティアネット 加盟団体初会合



情報交換し、連携を確認する防災団体の関係者たち。金沢市役所で

防災に携わる団体にも、防災ずきん作りやよる金沢市災害ボランティアネットワークショップの作成、こころのケアが十三日、金沢市松ヶ枝福祉館(高岡町)で初めて開かれ、十三団体が情報交換し、連携を確認した。市の防災対策や、災害時に設置されるボランティアセンターの運営体制などを確認。参加した各団体の関係者の考えを示した。災害発生時に全国から駆けつけるボランティアの力を効果的に引き出すため、顔が見える関係を普段から築き、連携を強化する必要があるとして、市や市社会福祉協議会が主催した。県災害ボランティア協会や日赤支部のほか、ボランティアの受け入れ側も情報を共有できるよう、市町会連合会や市校下婦人会連絡協議会の関係者も出席した。(飯田樹与)

災害対応 本番さながら

白山市出城地区自主防災委員会は一日、図上訓練を出城公民館で行い、地区内の町内会長や防災委員らが災害発生後に想定される具体的な問題への対応方法を学んだ。(稲垣遥謹)

白山・出城地区で図上訓練

防災士の藤田武則・白場で指揮を執る自主防災
山野々市広域消防本部消 組織の役員などとして、
防課長が講師を務めた。 避難所までの道程や、避 紙に書かれており、救助
訓練は架空の町の地図を 難所内で起こり得る課題 に何人向かわせるかや作
使い、震度6強の地震が を解決するための判断力 業にどんな資機材が必要
発生したと想定。参加者 を養った。 を限られた時間の中で
の役割は、有事の際に現 課題は「三軒の家が全 考えた。一つの課題を考
えられている途中で新しい課
題が出されるなど、本番
では対応が追いつかない
事態があることも体験し
た。



本番さながらの訓練の感想などを述べる参加者＝白山市出城公民館で

出城地区町内会長の
田村清明会長(五七)成町
は「問題に対応しきれ
ないことが分かった。今
日の経験を各町会に持ち
帰り、地区で防災につい
て考えてほしい」と呼び
掛けた。訓練では児童用
に「防災カルタ」も準備し
た。参加した児童らはカ
ルタを楽しみながら防災
に関する知識を学んだ。